

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 交流磁場の持つ抗腫瘍効果のメカニズム解析とがん治療への応用
2. 研究代表者： 梅村 将就（横浜市立大学 医学部 医学科 循環制御医学教室 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、創発研究者らの見出した、限られた範囲の交流磁場が熱効果ではなく交流磁場刺激のみで、正常細胞には作用せず、がん細胞や担癌マウスに対して強い抗腫瘍効果を持つことについて解明する。フェーズ 1 では、交流磁場について、多くのパラメーターへの影響を精力的に評価し、様々なアウトカムを示すことができている。交流磁場印加処置により担癌マウスに対する治療効果や腫瘍の代謝への変化に作用している点について実証できた点、また、特許取得にも注力してきた点が評価できる。一方で、現象論の記述に留まっているところがあり、根本的なメカニズムの解明まで至っていない。フェーズ 2 では、交流磁場との相互作用としてのメカニズムの解明の深掘り、また、医療機器開発に向けた検討や活動に期待する。

以上